

# 600 年を折り返しとして、未来に伝えるために ～ 恩 湯 再 建 へ の ご 寄 付 の お 願 い ～

開湯600年。山口県最古の歴史を持つ長門湯本温泉のシンボルとして愛され続けている「恩湯」を、地域の手で守り次世代に受け継ぐために、私たち長門湯守は責任と熱意を持って全力で取り組む所存です。

つきましては、2019年11月の恩湯再オープンに向けて、私たちの試みにご賛同いただける皆様方に、お力添えをいただきたく、ここに恩湯再建へのご寄付をお願いする次第です。お預かりした寄付金は建築費用の一部に活用させていただきます。

今般の経済情勢の中で、誠に厚かましいお願いではございますが、何卒ご理解とご協力のほどを、よろしくお願い申し上げます。


平成30年11月18日  
長門湯守 株式会社  
共同代表 大谷 和弘、伊藤 就一

600 年を折り返しとして、未来に伝えるために

## 恩 湯 再 建

進捗のご説明とご支援のお願い

### ご返礼品について

ご支援金額	ご返礼品	
五千円	「入浴券1枚」	全てのご支援者様には、左記の返礼品と併せ、お名前を恩湯ホームページに記載させていただきます。 また五万円以上のご支援をいただいた方には恩湯内に特設予定の「寄付者銘板」へのご記載を承ります。（どちらもご希望の方のみ）
一万円	「入浴券2枚」	
二万円～四万円	「入浴券5枚」	
五万円～十万円	「入浴回数券（11枚）1冊」	
十一万円～三十万円①	「入浴回数券（11枚）2冊」	
十一万円～三十万円②	「時間貸切入浴券（予約制・オープン前限定）1回8名まで」	
十一万円～三十万円③	「入浴回数券1冊（11枚）+川床3時間利用権」	
四十万円～五十万円	「年間フリーパス1名様分」	 <a href="https://onto.jp/">https://onto.jp/</a> 恩湯のホームページからも ご支援を受け付けております
六十万円～百万円	「年間フリーパス2名様分」	
百五十万円～二百万円①	「年間フリーパス1名様分+旅館宿泊券1名様分」	
百五十万円～二百万円②	「温泉開き・お一人目入浴券（男湯・女湯）」	
二百五十万円～三百万円	「年間フリーパス2名様分+旅館宿泊券2名様分」	

### お振込み先

山口銀行 長門（ナガト）支店（普通）5098922 口座名義 ナガトユモリ カブシキガイシャ  
ゆうちょ銀行 記号 15560（番号）30907431 口座名義 ナガトユモリ カブシキガイシャ

返礼品のお渡しのため、寄付金をお振込み完了後には、必ず弊社  
0837-27-0281 までご連絡をお願いいたします。





このイメージパースは検討中のものです。建築の詳細は変更する場合があります。

地元の食材を  
活かした飲食店  
とテイクアウト

川と親しみ  
日々を楽しむ場

600 年の伝統を  
持つ山口県最古  
の「神授の湯」

人・川・温泉がひとつながりになった小さく  
て快適な未来の温泉街。新しい恩湯は、  
その三つをつなぐシンボルです。

## 長門湯守がまもるもの

里山の原風景を感じさせる深い森に囲まれ、穏やかな音信川に沿って広がる長門湯本温泉。1960 年代以前には、川沿いに小宿が肩を並べ、八百屋、お肉屋、土産物屋などと共に街の賑わいを形作っていました。

旅館が内湯を備えていなかったその時代、旅人は必ず恩湯（外湯）に入り、通りには常に湯下駄の小気味よい音が“カランコロン”と響いていたと言います。温泉に恵まれた地ゆえ、お風呂を持たない家も多く、街の住民も恩湯を日常的に使っていたそうです。

恩湯に近い川沿いには、長門湯本ならではの「公衆洗濯場」があり、川へ流れる温泉水を使って住民が談笑しながら洗濯に励む。そんなほのぼのとしたコミュニティも、この場所にありました。

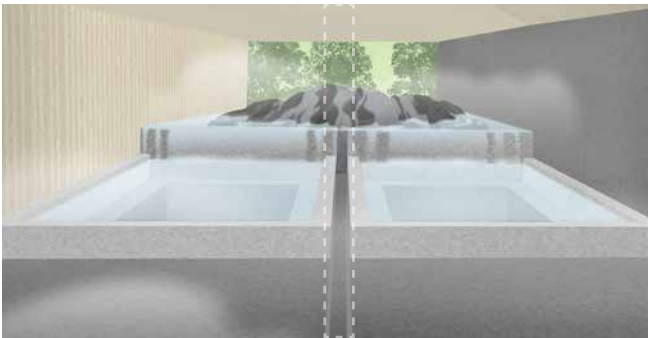
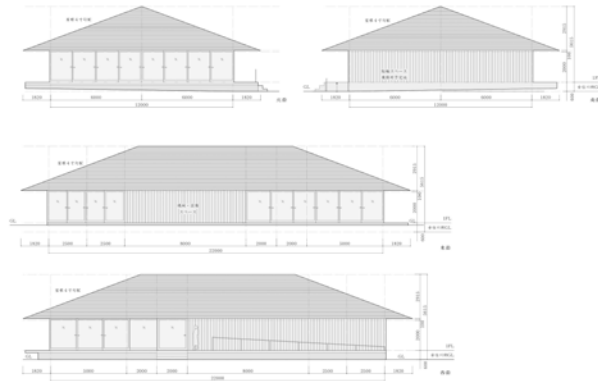
住民も旅館で働く料理人も、夕朝食の食材を街の商店に買いに行く。街を訪れた人々と、恩湯や川沿いで自然に触れ合う。そこには恩湯を中心とした日々の営みが存在し、高度経済成長期を経て、失われつつある「歩いて楽しむ温泉街」の姿が、確かにありました。

長門湯守は、人々が集い続けたこの場所の魅力を改めて見つめ直し、長門湯本の自然資本である温泉、音信川の環境を尊重し、生活者の暮らしの喜びに即した固有のまちづくりを目指します。

## 新たな恩湯が目指すもの

寺社仏閣に使われる銅板葺きの屋根と、木材をふんだんに使った素朴な佇まいは、仏生山温泉の建築で知られる岡昇平氏によるデザイン。

頭上の丘に鎮座する住吉神社と恩湯、音信川をひとつながりとするパブリック空間は、観光客と生活者がともに楽しむ、長門湯本の新しい景色です。



建物は泉源の真上に立ち、入浴時には「岩盤からの湧き出るお湯を見ることができる」全国でも珍しい温泉施設となります。深さ 1 メートルの湯船にゆっくりと浸かり、古代より滔々と湧き続ける「神授のお湯」を堪能してください。

また、併設の休憩スペースは開放的なガラス張りで、静かに流れる音信川のせせらぎを楽しみながら、のんびりとお風呂上がりを過ごせます。

## 恩湯入浴券の種類と料金 (案)

※ 幼児（三歳まで）は無料でご使用いただけます。※休前日は土曜日および、祝祭日の前日です。※特定期間とは年末年始、ゴールデンウィーク、お盆などの繁忙期となります。別途、営業日カレンダーにてご案内します。

利用券の種類	対象エリア	大人（中学生以上）		小人（４歳～小学生）		ご利用可能な日時
		平日	休日・休前日・ 特定期間	平日	休日・休前日・ 特定期間	
入浴券	どなたでもご購入 いただけます	650 円	700 円	300 円	350 円	全ての営業時間帯
１日パス		800 円	1,000 円	400 円	500 円	
入浴回数券（11 枚）		6,000 円		3,000 円		
地域フリーパス	三ノ瀬・湯本・門 前の住民	6,000 円 / 月額		3,000 円 / 月額		全ての営業時間帯
地域パス（制限有）		3,500 円 / 月額		1,500 円 / 月額		平日：10 時～14 時、18 時～22 時 休日・休前日・特定期間：18 時～22 時
市民フリーパス	長門市 市民	10,000 円 / 月額		5,000 円 / 月額		全ての営業時間帯
市民パス（制限有）		6,000 円 / 月額		3,000 円 / 月額		平日：10 時～14 時、18 時～22 時 休日・休前日・特定期間：18 時～22 時

※ こちらの料金は確定したものではありません。変更になる場合がありますので、ご了承ください。



室町の時代から脈々と続き、大正、昭和、平成の節目ごとに恩湯の建築も変わってきた



穏やかな音信川は昔も今も、かけがえの無い長門湯本の自然資本